



2014年7月29日

報道関係者各位

慶應義塾大学

総合政策学部・環境情報学部
2016年度一般入学試験より外国語の試験を多言語化

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）の総合政策学部・環境情報学部は、2016（平成28）年度一般入学試験より外国語の試験を多言語化します。今回の多言語化により外国語の試験では、全て英語の問題あるいは、問題の一部についてドイツ語やフランス語の問題を選択することが可能になります。今後（2017年度以降）さらに他の言語の導入も検討していきます。

【2016（平成28）年度一般入学試験からの教科・科目等】

「数学」あるいは「外国語」あるいは「数学および外国語」あるいは「情報」の4つの中から1つを選択（いずれも同一試験時間内実施）

小論文

- 外国語の出題範囲 - （数学、情報、小論文の出題範囲：省略）

- (a) 「コミュニケーション英語 ・ コミュニケーション英語 ・ コミュニケーション英語 ・ 英語表現 ・ 英語表現」
- (b) 「コミュニケーション英語 ・ コミュニケーション英語 ・ コミュニケーション英語 ・ 英語表現 ・ 英語表現 ・ ドイツ語」
- (c) 「コミュニケーション英語 ・ コミュニケーション英語 ・ コミュニケーション英語 ・ 英語表現 ・ 英語表現 ・ フランス語」
- (a)、(b)、(c)のうち、いずれかを選択する。

【目的】

- ・ 外国語の試験を多言語化することによって、日本の中等教育において、英語一言語ではなく、複数の外国語の学習を推進することをねらいとしています。日本の国際化のためには、世界に対して多角的な視野をもつことが必要と考えています。
- ・ SFCでは、育てる学生のモデルのひとつとして、英語だけではなく、それ以外の外国語も高度に使いこなしながら、世界を舞台に活躍できる人物の輩出を目指しています。

ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

本リリースは文部科学省記者会、各社社会部・湘南支局、TV各局等に送信させていただいております。

発表内容に関するお問い合わせ先

慶應義塾広報室（兒玉）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp>